

# 米主要企業の1-3月期決算発表が本格化へ



シニア・ストラテジスト 石黒英之

## ポイント① 市場予想を上回る内容となるかが焦点

米インフレ抑制に向けたFRB（米連邦準備制度理事会）による利上げの累積効果や、3月に高まった米金融システムを巡る混乱が今後米景気に及ぼす影響が懸念される環境下でも、23年の米国株は堅調地合いが続いています。

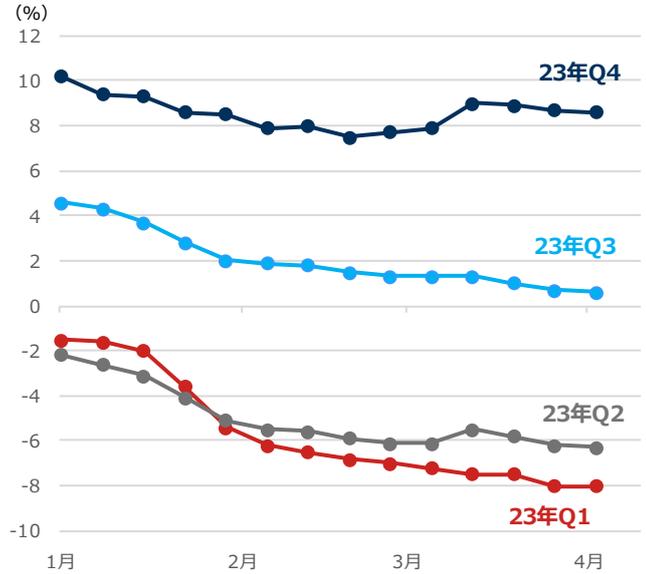
こうしたなか、米国株の先行きを占う上でカギを握る米企業の決算発表が本格化します。23年1-3月期のS&P500企業の予想EPS成長率は4月6日時点で前年同期比8.0%減となっています（右上図）。23年の四半期別の予想EPS成長率は1月以降、米景気の先行きや金融システムへの懸念などから下方修正が目立つなど、米企業決算への市場の期待は低いといえます（同図）。米企業決算は直近まで11四半期連続で事前予想を上回る結果となっており、今回もこうした動きが継続するかが、米国株の今後を見る上で焦点となります。

## ポイント② ハイテク株の業績は今後改善へ

今回発表される23年1-3月期のS&P500企業のEPS成長率を業種別にみると、全11業種中、情報技術や通信サービスなど指数寄与度の高いハイテク業種を中心に8業種が減益となる見込みです（右下図）。ハイテク株の業績不振が全体の業績を下押しする構図といえます。

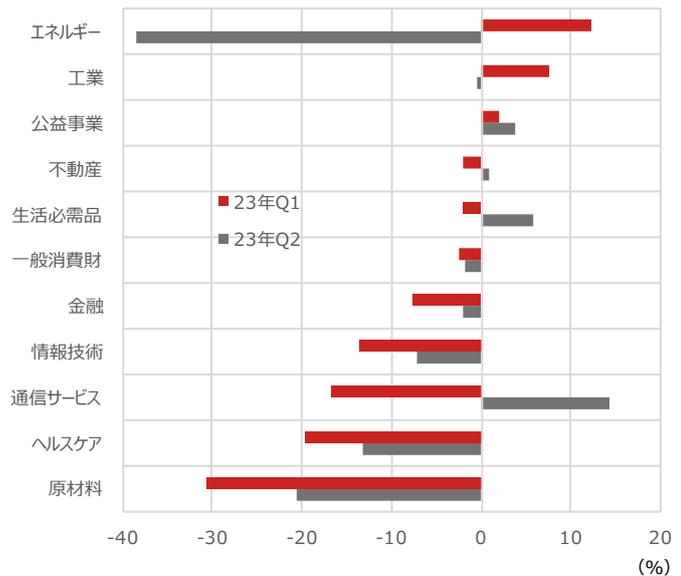
もっとも、23年4-6月期のEPS成長率をみると、現時点では通信サービスが2桁増益に転じるとみられているほか、情報技術も減益幅が縮小する見込みとなっており、ハイテク株の業績は持ち直す見通しです（同図）。4月に入り米景気の悪化を示唆する経済指標が相次ぐ中で、企業の収益環境が市場予想通り改善に向かう兆しが経営者から示されるかがポイントとなります。

### S&P500企業のEPS（1株当たり利益）成長率予想の推移



期間：2023年1月6日～2023年4月6日、週次  
 ・2023年Q1（1-3月期）～2023年Q4（10-12月期）のEPS成長率が対象  
 ・EPS成長率予想は前年同期比（Bloomberg予想）  
 （出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

### S&P500企業の業種別のEPS成長率予想



期間：2023年Q1（1-3月期）～2023年Q2（4-6月期）  
 ・EPS成長率は前年同期比  
 ・予想は2023年4月6日時点のBloomberg予想  
 （出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

\*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。